

北海道と北海道民を愛する皆さまへ

北海道内の新型コロナウイルス感染拡大を抑えるためのお願い

2020年5月26日

北海道大学医学研究院公衆衛生学 玉腰暁子

昨日、全国の緊急事態宣言が解除されました。他の都府県に先駆け2月末に独自の緊急事態宣言が出された北海道に暮らす私たちが待ち望んだ解除といえます。しかし、緊急事態宣言解除の目安として挙げられていた直近1週間の新規感染者数が人口10万対0.5人未満というラインは満たせておらず、また感染経路がわからない感染者も一定割合出ている中での判断となりました。

新型コロナウイルス感染症対策の難しいところは、無症状あるいは軽症の方も多い中で、症状が出る前でも、人に感染させるということです。そしてその結果は今のシステムではおおよそ2週間経たないと、それも感染した人が症状を呈した場合にしかわかりません。これは、人と人との接触が増えていけば、今もどこかに潜んでいるウイルスが気づかないうちに再び広がり、それに気づけるのは早くても2週間後になる可能性があることを意味します。

この取り組みは長期戦になるでしょう。ウイルスがどこかに存在する以上、感染を完全に抑えることは難しく、感染者数や重症者数を見つつ対策を緩和したり強化したりを繰り返すことになると考えられます。感染は人と人との接触により広がりますので、これまで強く要請されていた様々な自粛を一度に解くのではなく少しずつ、またこれまで通り「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」ことが重なる場所は避けるなど、引き続き一人一人が意識して用心深く過ごしましょう。今回の解除の影響がわかるのは2週間後ですので、2~3週間で1段階進む感じでしょうか。そして、医療現場や介護施設など、感染が広がれば大きな被害が生じる場所に、ウイルスが持ち込まれないようにしたいものです。

皆さまには、今後とも、ご自身と大切な方、そして北海道を守るため、デマに惑わされることなく、引き続きリスクを避ける行動をとられるよう、お願いいたします。

北海道の皆様へのお願い

- (1) 「換気の悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」ことが重なるような場は避けましょう
- (2) 体調が悪い時は外出を控えましょう
- (3) 手洗いの習慣を維持しましょう